

継続力のあるモビリティ・マネジメント

目的

枚方市では、市域の西側には京阪電気鉄道（株）の京阪本線が、東側には西日本旅客鉄道（株）（JR西日本）の片町線（学研都市線）が各々南北に通じており、これらの鉄道を繋ぐように東西方向の路線バス網が発達してきました。市域では、アクセシビリティが20分圏域居住する人口が約84%で、多くの居住者が短時間で公共交通を利用できる環境にはあります。平成27年市民アンケート結果でも、

住みよいまちづくりに対する公共交通整備に関して、80%以上が重要であると答えています。

しかし一方で、本市においても人口減少や高齢化社会が進んでおり、将来的に利用者の減少が交通環境（バス路線網）に大きく影響することも予想されます。このため、公共交通について一人ひとりの意識を高め、利用を促進することが重要であるとの認識のもと、枚方市及びNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議（公共交通部会）では、平成17年度より交通事業者とともにモビリティ・マネジメント（MM）活動に取り組んできました。

公共交通が乗りやすくなるような情報を提供するために、毎年、市内転入全世帯に対して「ひらかた交通タウンマップ」を配布するとともに、マップを利用した公共交通利用促進イベント（春・秋の「バス！のってスタンプラリー」）を14年間休むことなく継続して実施しています。

また、このスタンプラリーと並行して、様々な活動をしています。



【枚方市の交通概要】

取り組み内容

バス！のってスタンプラリー

延参加者数（平成31年春までで7000人弱）



チラシ



京阪バスの協力により一日バス券を発行



自治会によるポスター掲示



市長見送りで出発



地元協力店舗のスタンプポイント

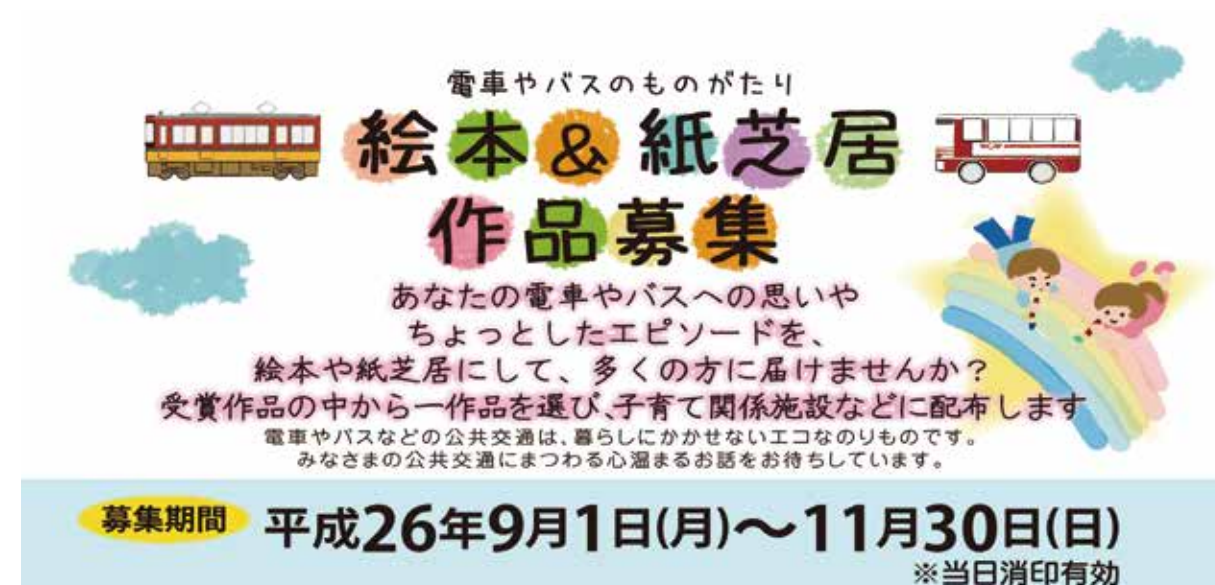
「電車・バスと桜」の公募写真

スタンプラリーに合わせて、平成23年度・24年度・25年度募集



枚方市駅

電車やバスのものがたり「絵本&紙芝居」募集



最優賞：つぎとまります
製本し市内60箇所に1000部を頒布

応募総数28点の審査に続いて表彰式と展示会を開催



優秀賞：サンタがでんしゃでやってきた
みんなのバス



京阪バス特別賞：あのこぼく

バス！のっておすすめコースコンテスト



地域資源を活用したり
自身の想いを乗せた
14作品の応募

ひらかた交通タウンマップ

（年2回更新、1回7000部程度、年間約15000部程度を印刷・配布）



ひらかた交通すごろく

GOALの順番や得点だけでなく、GOALまでの過程で「クルマ」「バス」ならではのメリット・デメリットを学びながら、「社会的シレンマ」を把握する力を養うことができるすごろく

